

2024年3月29日
一般財団法人 社会変革推進財団

社会変革推進財団、休眠預金活用事業における事後評価をまとめた
「社会的インパクト評価レポート 2023」発行

一般財団法人社会変革推進財団（理事長：大野修一、以下、SIIF）は、2024年3月29日、休眠預金活用事業における2020年度案件「コレクティブインパクトによる地域課題解決事業」の事後評価をまとめた社会的インパクト評価レポート（以下、本インパクトレポート）を発行いたします。

本インパクトレポートは、2020年度に採択した3つの支援先団体（以下、実行団体）の「コレクティブインパクトによる地域課題解決事業～重要社会機能の可視化と集合的支援のためのコンソーシアム育成」に関する3年間の成果をまとめたものです。

各実行団体が取り組む社会課題を明示し、ロジックモデルを活用して、実行団体による事業がどのようにその社会課題を解決していくのか、というインパクト戦略を整理・可視化するとともに、本事業の初期的な成果(アウトカム)を最終評価として掲載しています。加えて、SIIFと各実行団体の3年間の協働のプロセスを振り返り、数字で見る変化や成果に関する総括を行いました。事後評価報告書としての位置付けにとどまらず、ソーシャルビジネスの実践者やインパクト評価に携わるさまざまなステークホルダーの皆さまのお役に立てるよう、成果だけではなく、さまざまな教訓や学びの可視化を試みています。

SIIFの休眠預金事業が一貫して持つテーマは「地域の活性化」です。休眠預金等活用法に基づき、10年以上取引のない預金等（休眠預金等）を、社会課題の解決や民間公益活動の促進のために活用する制度において、SIIFは、2019年度、2020年度、2021年度と3年連続して「資金分配団体」に採択されています。本事業も地域の活性化を目的とし、各地域で重要な社会機能を担う事業体をコレクティブアプローチ（より高い社会的インパクト創出のため、複数の組織が協同して社会課題解決に取り組むこと）により、維持・発展させていくことを目指しました。

本インパクトレポート発行により、コレクティブインパクトによる地域課題の解決に関心を持っていただくきっかけとなり、地域課題解決のための共鳴の輪が広がる一助となれば幸いです。



[【SIIF 休眠預金事業 インパクトレポート 2023】](#)

- 休眠預金事業とは
- 2020 年度「コレクティブインパクトによる地域課題解決事業」ハイライト
- 概要と最終評価
 - 2020 年度 SIIF 休眠預金事業の概要
 - 事業の実績
 - 初期アウトカムの達成状況
 - 3 年間の振り返り
 - 地域課題解決におけるコレクティブインパクトに関する調査
 - コレクティブインパクトを発展させるために
- 2020 年度実行団体の事業概要と最終評価
 - 特定非営利活動法人 空家・空地活用サポート SAGA
 - 特定非営利活動法人 但馬を結んで育つ会
 - 一般社団法人 東の食の会
- 休眠預金事業支援先合同セッションの報告
- SIIF について / 編集後記

【社会変革推進財団（SIIF）について】

日本におけるインパクト投資のエコシステムを共に育て、社会課題を解決していくというミッションのもと設立されました。ソーシャル・インパクト・ボンドを含む社会的インパクト投資のモデル開発や、普及のための環境整備、調査研究・政策提言に取り組んでいます。世界に先駆けて成熟社会に突入する日本を起点として持続可能な社会を支える資金の流れを多様なパートナーと共に作り出すことを目指します。